

## ソフトウェア開発・保守支援システム「SMART」

増大する通信システムのソフトウェア開発に対処するため、1986年（昭和61）、通信ソフトウェアの開発や保守を支援する道具（ツール）として、ソフトウェア開発・保守支援システム「SMART」（Software Maintenance And Reproduction Tool）を開発した。

SMARTは、主にデータ・画像通信分野における通信用ソフトウェアの開発に的を絞り、対象ターゲットマシンは市販のマイクロコンピュータシステムである。UNIXを中心としたシステムで、TSS型ホストコンピュータにワークステーション群などが接続したものになっている。

出典：KDD社史